



復帰50周年記念事業

～沖縄の発展のあゆみや将来の可能性、見て、知って、考える機会としよう～



第3回

「KINサンライズビーチ」が供用されます

金武湾海岸(ギンバル地区)のこれまでの取組

金武湾海岸(ギンバル地区)は、金武町に位置する海岸で、米軍の訓練場として本



ギンバル訓練場跡地利用計画

土復帰前から使用されてきました。平成23年7月のギンバル訓練場全面返還に伴い、金武町は当該訓練場跡地を健康と癒やしが見込めるリゾート地にするを指し、リハビリ・医療関係施設、スポーツ施設の整備を進めています。

ギンバル訓練場跡地一帯は、美しい海岸線やマングローブが群生する徳首川、田芋や稲などの水を湛えた田園風景が広がる豊かな自然環境にあることから、町は地域の特性を活かした「ウェルネスの里づくり」をテーマとして跡地利用を行っています。

県は、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画にある駐留軍用地跡地の有効利用の推進の観点から、金武町にて計画されている海浜公園の整備と連携し、金武湾海岸(ギンバル地区)において平成28年度から事業延長800m、総事業費24.9億円での護岸、突堤、養浜、植栽等の海岸環境整備事業を進めており、まもなく完了予定です。

- *護岸…海岸などの侵食の防止や海水などが陸側へ侵入するのを防ぐ施設のこと。
- *突堤…陸から海に長く突き出した堤防のこと。
- *養浜…砂を供給して海浜の造成を行うこと。

KINサンライズビーチ

金武湾海岸(ギンバル地区)の海岸環境整備事業がまもなく完了し、供用開始予定であることから、県は復帰50周年記念事業として、供用開始式を行うとともに、金武町と連携・協力し、同事業の一環として整備した「KINサンライズビーチ」において海開き等のイベントを行います。

海岸背後の海浜公園は、金武町により管理棟1棟、倉庫3棟、トイレ・シャワー棟2棟、ピロティ1棟の整備が行われており、利用者の利便性向上を図るため、海浜部と海浜公園を町が一体的に管理することになっています。

供用開始後は、海水浴やマリンスポーツ、バーベキュー等が楽しめるようになります。「KINサンライズビーチ」の名称は、金武町により町内の小・中学校の児童・生徒を対象に公募し、188件の中から選ばれました。



金武湾海岸(ギンバル地区) (令和4年2月撮影)



問い合わせ

海岸防災課 電話:098-866-2410 FAX:098-860-3164